

2020 年度事業報告

I 役員 の 状 況 (理事定数 8 名 監事定数 2 名) 第 9 代 1 年 目

2020 年 5 月 21 日～2021 年 5 月 21 日 まで

役職	氏名	就任年月日	備考	職業、社会的活動、所属	理事会出席回数
理事長	村上栄子	H16.5.15	重任	法人職員兼務	4
副理事長	渡邊健二	H16.5.15	重任	法人職員兼務	4
理事	伊藤圭子	H15.9.10	重任	元親の会代表	3
理事	加藤智子	H16.5.15	重任	臨床心理士・臨床発達心理士	3
理事	西村 淳	H24.5.18	重任	ひまわりと共に歩む会	4
理事	斉藤美香	H22.5.22	重任	家族	4
理事	岩田吉生	H28.5.22	重任	大学准教授	4
理事	木村正明	H28.5.22	重任	会社員	4
理事	時岡新	R1.5.22	重任	大学教授	4
監事	伊藤照夫	H20.5.31	重任	ほっとくる施設長 元愛知県聴覚障害者協会会長	1
監事	篠田久恵	H20.5.31	重任	愛知県手話通訳問題研究会 運営委員	2

II 2020 年度総会報告

ア、第 18 期定期総会 6 月 13 日 (土) 書面評決

38 名中委任採決 3 名、書面評決 16 名 本人出席 3 名 計 22 名出席

第 1 号議案 2019 年度事業報告 可決

第 2 号議案 2019 年度会計報告・監査報告 可決

第 3 号議案 2020 年度事業計画 可決

第 4 号議案 2020 年度予算 可決

第 5 号議案 2020 年度役員報酬について 可決

III 2020 年度理事会報告

ア、第 1 回理事会 5 月 23 日午前 10 時から 11 時

聴覚・ろう重複センター蒼

理事総数 9 名のうち (書面評決 6 名出席 3 名) 出席 9 名 監事 2 名

第 1 号議案 2019 年度事業報告 可決

第 2 号議案 2019 年度決算報告 監査報告 可決

第 3 号議案 2020 年度事業計画案 可決

第 4 号議案 2020 年度予算案 可決

第 5 号議案 2020 年度役員報酬について 可決

イ、第 2 回理事会 10 月 24 日 (土) 午前 10 時から 11 時 30 分

理事 9 名出席 (委任状 2 名含む) 監事 0 名出席

- 第1号議案 ヒアリング結果と法人課題について 審議
報告1 コロナ関係助成金について
2 上半期経営報告
3 人事異動報告
4 職員就業規則改訂
- ウ、 第3回臨時理事会 12月19日 理事9名出席 監事0名
第1号議案 「聴覚・ろう重複センター藤」建設に伴う資金計画、担保提供について 可決
- エ、 第4回理事会 2021年2月20日 聴覚・ろう重複センター碧
理事5名出席（委任状2名含む）監事2名
第1号議案 大垣共立銀行からの資金借入れについて 可決
第2号議案 職員評価表と賞与査定について 可決
第3号議案 コンプライアンス委員会の立ち上げ 可決
第4号議案 2021年度 法人目標 可決

IV 令和2（2020）年度事業報告

特定非営利活動法人つくしは、定款『聴覚に障害を持つ者（聴覚障害児・者）また聴覚と他の障害とを併せ持つ者（ろう重複障害児・者）とその家族に対して福祉サービスの諸事業を行う。

これらの事業は、コミュニケーション環境の整備を図ることによって、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ地域で生活を営むことができるように支援する。また利用者の生涯にわたって、自立と社会参加・活動を実現するためのあらゆる支援を行う。』に沿って、下記のとおり事業を行いました。

具体的には、定款第5条第1項として障害者福祉サービス業、介護保険事業、児童福祉事業を実施し、また蒼の授産事業として化粧品製造販売事業、第2項として駐車場等事業を行いました。

2020年4月の職員数等、および2020年度の会計の全体像は下記のとおりです。

正会員数(社員数)	38名(2020年4月)
賛助会員数	個人213名 団体5
サービス受給者数 (全事業所 2021.5.1時点)	契約者数 485名 実利用者数 379名
事業所数	11 (名古屋市守山区4 千種区2 春日井市岩野町 豊橋市堂坂町 豊橋市小浜町 岡崎市伊賀町 津市久居)
提供事業種	生活介護 2 共同生活援助 1 就労継続支援B型 3 放課後等デイサービス 4 児童発達支援 2 日中一時支援 2 移動支援、居宅支援、同行援護、行動援護、重度訪問介護、各1

	訪問介護 予防訪問介護 各1 居宅介護支援 1 特定相談、障害児相談 各1
職員数(常勤・非常勤計)	138名 (うち 常勤職員40名 産休職員1名)
年間寄付金額	賛助会費による寄付 572,000円 一般寄付 1,685,166円
総事業収入	315,962,951円 (対前年比 107%)
総事業支出	273,049,816円 (対前年比 104%)

2020年度事業計画の方針は以下の通りでした。

- ① 職員が法人の理念をより深く理解し、共有し成長していくために必要なことを行う。
パート・アルバイトを含め職員の定着のために必要なことを行う。
- ② 総務の課題として以下のことを行う。
職員募集パンフの作成
パート・アルバイトの手引きの作成 管理者の手引きのリニューアル版の作成
- ③ 一宮市の『藤』岡崎氏の『灯(あかり)』について、2021年度以降の事業開始日程を検討する。

昨年4月は、学校休業日が続いている中でのスタートで、3月からヘルパーへの休業要請や学校休業にかかわる児童デイのキャンセルなどが起きていました。

利用者さんや職員の公共交通機関利用の変更対策などしつつ、感染予防のマニュアル化や、休業補償の可能性、国の通達を読み込むのに多くの時間を費やす年となりました。

当初は、名古屋市が感染者が多かったこともあり、三重県との行き来は自粛し、名古屋から豊橋、岡崎等に移動するものはばかれたので、5月6月の管理者会議、全体会議は中止。

理事会、総会は書面評決としました。

その後、第2回の理事会は、実際に集まりましたが、第3、4回理事会、1月の第2回管理者会議、3月の全体会議はリモートで行いました。日頃から、スカイプ、テレビ電話の利用になれているので、いざ始めてみると職員内ではスムーズでしたが、実際に会って行う会議とはどういう、利点、困難点があるのかまだ整理できるところまでは行っていません。考えながら行っているというのが実情です。

そんな中12月の全体研修は全員が集まり、距離をおいて会食し、顔を合わせることができました。

この時も、津市のひまわりの職員は参加を控えるという措置をとりました。

このように、直接会うこともなく、地域で独立して日々運営せざるを得なかった管理者と職員が、事業所の創意工夫でパートさんとの交流会を行ったり、学習会を行ったりして経営を維持できたことは、高く評価できることと思います。

今日まで、事業所由来で感染者は発生していませんが、茜で、3月31日に、茜を利用児童に感染が判明し、茜の利用者、スタッフ全員が濃厚接触者としてPCR検査を受けることができました。

最終的に職員1名、児童2名の感染があり、茜は4月13日まで休業しました。

昨年は職員に介護従事者全員へのコロナ慰労金、これは個人への配布でしたが法人が手続きを行い、また、コロナ関連消耗品への補助金として、緊急包括支援金の給付が各事業種別限度額まで申請可能でした。法人全体で約400万円の申請をしました。

目標のまとめ

① ②

結局、総務の仕事として、パート・アルバイトの手引きを作ったり、定着のための研修を提案することもなく、それらを各事業所にまかせた1年になってしまいました。

しかし、パート・アルバイトの離職者は少なく、経験を積んだパート・アルバイトさんにたくさん支えられて運営ができています。

③ 一宮市、『聴覚・ろう重複センター藤』は、開設のために土地を購入し、今年度10月開設予定で事業進行中です。

資金計画（最終）

単位 千円

支出項目	金額	入金項目	金額
永井工務店 建築工事費	31,296	福祉医療機構	28,000
AE 建築設計 設計管理費	3,465	理事からの借り 入れ	6,400
土地取得費	5,400	自己資金	9,761
備品整備費	2,400		
初期人件費等	1,600		
計	44,161		44,161

今回は、福祉医療機構の融資を受け、またそれとは別に運営資金の調達として大垣共立銀行から500万円借入れを行いました。



2 事業の実施に関する事項

2020年4月1日～2021年3月31日の事業年度に以下のとおり、事業を行いました。(実施場所は省略)

(1) 特定非営利活動に係る事業

- ① 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業、
一般相談支援事業、特定相談支援事業、地域生活支援事業

ア 生活介護事業

事業所名	聴覚・ろう重複センター碧				
営業日数	257日	定員	20名	平均利用者数計画	11名
契約者数	22名			平均利用実績	11名
事業所目標	安心安全な施設づくり				
目標評価 C	事故が多く目標達成には至らなかった。 目標達成のためのヒヤリハットについては情報共有は進めることができた。				
費用計画	40,383,000円		経常収益計画	49,100,000円(補助金含む)	
費用実績	44,383,881円		決算	50,299,140円	
収支差額	5,915,259円				

イ 就労継続支援B型

事業所名	聴覚・ろう重複センター蒼				
営業日数	257日	定員	20名	平均利用者数計画	10名
契約者数	11名			平均利用実績	10人
事業所目標	① 仕事の効率をあげる。② 情報共有し、連携して動く。				
目標評価 B	すきま時間を使って効率よく仕事を進めることができた。仲間が取り組みやすいよう作業の工夫も行ってきた。情報共有の部分では必要な情報を必要な人に伝えられていないことが多かった。				
費用計画	25,102,000円		経常収益計画	22,878,000円	
費用実績	23,854,075円		決算	26,736,449円	
収支差額	2,882,374円				

事業所名	聴覚・ろう重複センター桃				
営業日数	257日	定員	20名	平均利用者数計画	15名
契約者数	33名			平均利用実績	14.0人
事業目標	今の体力と今まで以上の笑顔を継続できるよう、一人ひとりが生きがいを感じられる仕事を提供する。				
目標評価 A	① 体操と散歩はしっかりできた。 ② スタッフがいつも笑顔でいた ③ 新商品を改善、改善でいいものを作れた ④ 1人ひとりの能力にあった仕事を探し、役割を持ってもらえた。 ⑤ スタッフニュースの時間が激減してしまった。				

費用計画	28,576,000 円	経常収益計画	33,600,000 円
費用実績	29,940,378 円	決算	30,728,935 円
収支差額	788,557 円		

ウ 多機能型

事業所名	聴覚・ろう重複センターそら				
営業日数	257 日	定員	20名	平均利用者数計画	8 名
契約者数	13 名			平均利用実績	8.9 人
事業所目標	チームとして、状況に合わせて柔軟に対応できる対応力を高めていく。				
目標評価 B	柔軟に対応できた面、対応できなかった面があったが、日々の積み重ねにより、チームとしての経験値を高めることができた。				
費用計画	21,441,000 円	経常収益計画	20,200,000 円		
費用実績	21,042,899 円	決算	25,922,973 円		
収支差額	4,880,074 円				

エ 共同生活援助

事業所名	碧第1ホーム				
営業日数	345 日	定員	7 名	平均利用者数計画	5 名
契約者数	6 名			平均利用実績	4.0 名
事業所目標	利用者さんにゆったりとした過ごしやすいホームをつくろう				
目標評価 B	事故発生が多くなった。辞める方やコロナの影響もあり休み方も増えた。休日開所が増えてきており、仲間にとって過ごしやすいつころになってきている。				
費用計画	11,951,000 円	経常収益計画	16,119,000 円		
費用実績	13,689,218 円	決算	16,357,365 円		
収支差額	2,668,147 円				

オ 日中一時支援

事業所名	聴覚・ろう重複センターひまわり				
営業日数	255 日	定員	10 名	平均利用者数計画	4 名
契約者数	5 名			平均利用実績	4.0 名

※以下放課後等デイサービスの項のひまわりに同じ

カ 居宅・行動・同行・重訪

事業所名	聴覚・ろう重複センターおれんじ				
営業日数	257 日	定員		平均利用者数計画	
契約者数	43 名			平均利用実績	
事業所目標	利用者の変化(病や身体能力の低下など)に気を配る。				
目標評価 A	複数のヘルパーが関わっている利用者にはそれぞれグループラインをつくり情報				

	共有しやすい体制を整えた。はち丸ネットワークに加入。 来年度は他事業所との連絡を密にしたい。		
費用計画	24,609,000 円	経常収益計画	20,000,000 円
費用実績	22,643,806 円	決算	21,569,195 円
収支差額	-1,074,611 円		

キ 計画相談

事業所名	聴覚・ろう重複センター葵			
営業日数	257 日	定員		平均利用者数計画
契約者数	90 名			平均利用実績
事業所目標	利用者本位の生活を実現するマネジメント力をつけよう。			
目標評価 A	本人が自身で選択・決定できるように、相談員としてできるだけ準備・調整・配慮をおこなうよう日々進めてきた。			
費用計画	10,687,000 円 (ケアマネとの計)	経常収益計画	8,280,000 円 (補助金含む)	
費用実績	10,733,183 円	決算	9,630,480 円	
収支差額	-1,102,703 円			

① 介護保険法に基づく事業

ア 訪問介護、介護予防訪問介護

以下、移動・居宅・同行・行動の情報に同じ

事業所名	聴覚・ろう重複センターおれんじ			
営業日数	257 日	定員		平均利用者数計画
契約者数	5 名			平均利用実績

イ 居宅介護支援

以下、計画相談の情報に同じ

事業所名	聴覚・ろう重複センター葵			
営業日数	257 日	定員		平均利用者数計画
契約者数	13			平均利用実績
				12名
				10.0名

③ 児童福祉法に基づく事業

ア 児童発達支援、放課後等デイサービス

事業所名	聴覚・ろう重複センターつくしっこ			
営業日数	258 日	定員	20名	平均利用者数計画
契約者数	54 名			平均利用実績
				22名
				17.5名
事業所目標	情報共有を大切に、スタッフの意識を高める			

目標評価 B	職員が担当するパートさんを決めてそれぞれで情報交換などコミュニケーションを取ることが難しく、トラブルやけがにつながるがあった。気をつけていきたい。		
費用計画	37,840,000 円	経常収益計画	34,300,000 円
費用実績	36,191,472 円	決算	34,641,040 円
収支差額	-1,550,432 円		

事業所名	聴覚・ろう重複センター茜				
営業日数	258 日	定員	20 名	平均利用者数計画	20 名
契約者数	55 名			平均利用実績	13.3 人
事業所目標	つなげよう、つながろう、振り返りから実践へ				
目標評価 A	人とつなげる、つながる意識を持つよう心がけ、既存者の利用日数を増やしたり、新規利用者の確保ができた。また環境改善を行い、利用者や職員の風通しをよくした。				
費用計画	30,483,000 円	経常収益計画	32,555,000 円		
費用実績	22,916,073 円	決算	25,110,606 円		
収支差額	2,194,533 円				

事業所名	聴覚・ろう重複センターひまわり				
営業日数	243 日	定員	10 名	平均利用者数計画	7 名
契約者数	31 名			平均利用実績	10.3 名
事業所目標	専門施設としての誇りを持ち、外部との連携を深めながら、柔軟なチームをつくらう。				
目標評価 B	子どもの利用増加に伴う職員体制や職員育成が遅れ、外部との連携はできなかった。				
費用計画	24,373,000 円	経常収益計画	28,386,000 円		
費用実績	24,330,069 円	決算	32,034,425 円		
収支差額	7,704,356 円				

イ、放課後等デイサービス

事業所名	聴覚・ろう重複センター楓				
営業日数	257 日	定員	10 名	平均利用者数計画	10 名
契約者数	53 名			平均利用実績	8.9 名
事業所目標	個の気付き、チームでの検討、共有、実践				
目標評価 A	月1でスタッミーティングを設け、日頃の困りごとや対応の悩み等を共有し、その場で共有、情報周知ができた。個別でのケースをあげ理解を深め、現場での意識付けにも繋がった。				
費用計画	19,294,000 円	経常収益計画	27,450,000 円		

費用実績	20,919,018 円	決算	26,491,448 円
収支差額	7,567,290 円		

④ 化粧品製造販売事業

事業所名 TeDe

- (ア) 事業内容 授産事業として、安心安全な手作り化粧品の製造販売
- (イ) 実施日時 年間 144 日
- (ウ) 実施場所 名古屋市守山区金屋二丁目 286 鳥羽見マンション 1 階西号室
- (エ) 従事者数 常勤職員 4 名(兼務) 非常勤職員 2 名
- (オ) 受益対象者の範囲及び予定人数 製造にかかわる従事者の工賃、購入のお客様
- (カ) 収益見込み額額 予算 2,500,000 円 決算額 1,895,786 円
- (キ) 費用見込み額 予算 2,000,000 円 決算額 2,347,128 円

(2) その他の事業

① 駐車場等事業

- (ア) 事業内容 法人の土地を駐車場として経営する。
- (イ) 実施日時 2020 年 4 月 1 日～2021 年 3 月 31 日
- (ウ) 実施場所 名古屋市守山区西川原町
- (エ) 従事者人数 1 人(総務)
- (オ) 収益額 予算 800,000 円 決算額 869,000 円
- (カ) 費用額 予算 400,000 円 決算額 358,000 円

(3) 研修等の実施状況

- ① 12 月 5 日 第 11 回法人職員研修 10 時～16 時 守山商工会 3 階会議室
講演『強度行動障害の基本的理解と支援について』



名古屋市強度行動障害者専門支援員
ひまわり福祉会 杉本 都 氏



グループワーク レポート提出者 朴周史
武田太一

残念ながら、三重県からの参加は自粛しました。

② その他研修

愛知県サビ管、児発管更新研修 参加者 5名 リモートで行われました。

相談支援専門員研修 参加者 1名 一部リモート グループワークは次年度に持ち越しています。仮の修了書発行にて対応

法人の1年目研修、2年目研修は延期の後、リモート等で行いました。

③ 実習生受け入れ状況

社会福祉士実習 碧 同朋大2名 蒼 日本福祉大学1名

保育士実習 つくしっこ 愛知淑徳大学 2名